

地域住民の視点を用いた 回遊ルートデザインによる まちの魅力増進・発信 プロジェクトレポート

盛岡市鉦屋町界隈をモデルに実施した取組をご紹介します。



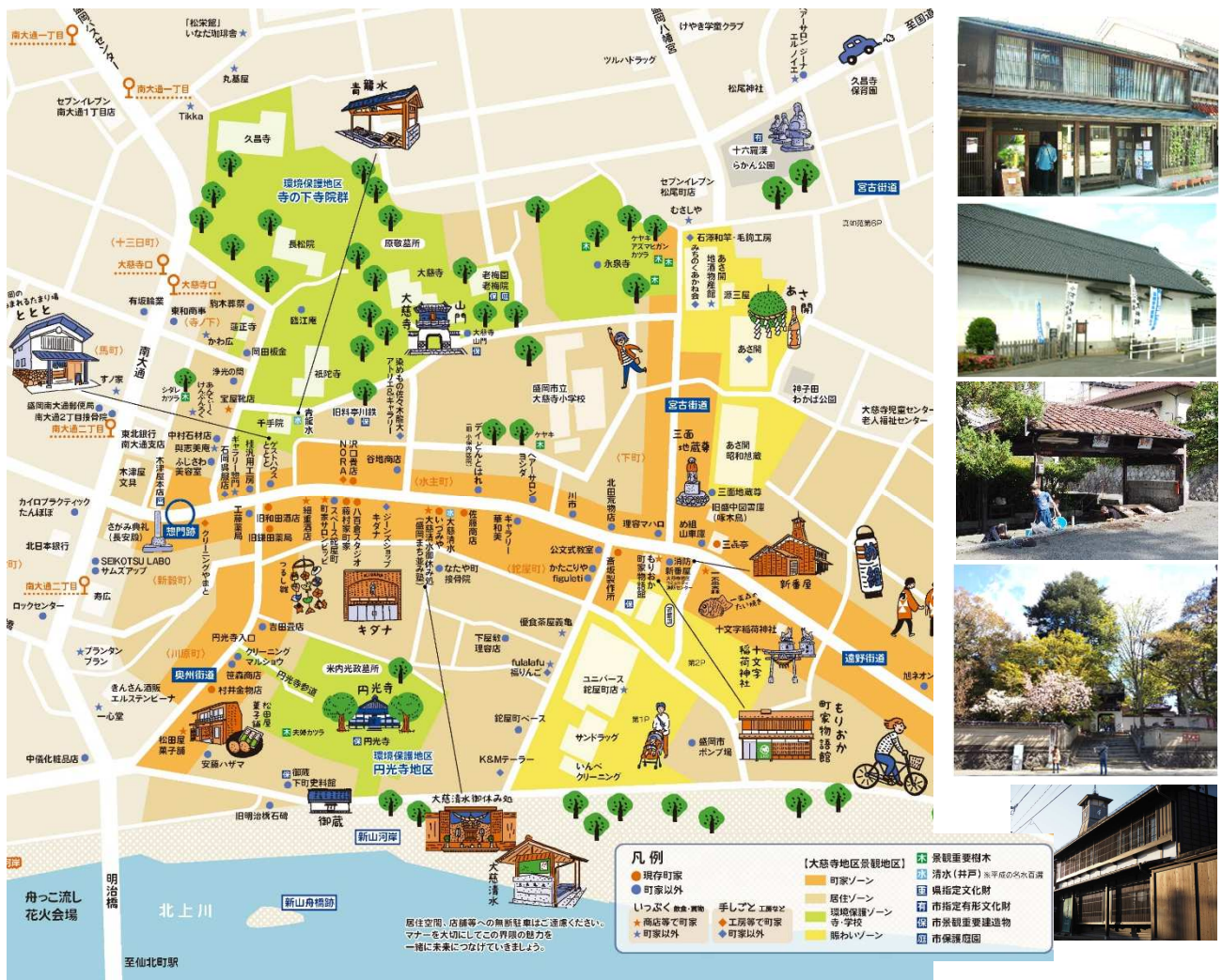
まちの人々の
まちへの誇りを
“見える化”しました

プロジェクトレポートについて

岩手県盛岡市鉦屋町界隈をモデルに実施した「地域住民等の視点をういた回遊ルートの提案を通じたまちの文化や日常の魅力を伝える取組」をご紹介します。他地域でも同様のプロジェクトに取り組む際の参考にさせていただければ幸いです。

プロジェクト実施エリア:盛岡市大慈寺地区鉦屋町界隈について

江戸から明治時代にかけて、北上川の舟運拠点・街道が交わる交通の要所、城下町の玄関口として栄えた地域です。四季折々の自然・風土が育んだ清水、旧街道に沿って商家であった盛岡町家、酒蔵、寺院群、舟運時代の土蔵などの多くの歴史的建造物が人々の暮らしの中に息づき、地区の一部が景観地区に指定されています。歴史的な建物とまち並みが保存活用され、義理人情味あふれる人々がいきいきと暮らし、城下町の情緒風情と暮らしの文化を今に残しながら、地域ならではの佇まいを醸し出している貴重な地域です。



※「ばらり鉦屋町マップ」(発行:2023年度: 特定非営利活動法人盛岡まち並み塾)より

◆プロジェクトメンバーとなる地域活動団体

◎ 主催: 特定非営利活動法人盛岡まち並み塾

2003年任意団体発足から2017年法人化し、盛岡市鉦屋町界隈を拠点に歴史的なまち並み及び建築物等と暮らしの文化を次世代に継承するため、地域住民と共に、その保存・活用を通じて、まちづくりや景観形成等の推進を図る活動に関する事業を行い、地域の歴史・文化の向上と活性化、観光の振興に寄与することを目的として活動しています。

◎ 協力: もりおかワカものプロジェクト

“楽しみながら盛岡を元気にするプロジェクト”として、盛岡市鉦屋町界隈を活動拠点に集う、学生と社会人の有志の集いです。

「鉦屋町界隈の歴史的な街並み」「暮らし文化」「義理人情厚い人々との繋がり」等のもりおか暮らしの魅力を発見・発信する活動をしています。

◆このプロジェクトは令和5年度盛岡市市民協働推進事業補助事業(テーマ設定型: 地域と連携したまちの文化と日常の魅力を伝えるための取組)の採択を受け、「地域住民の視点をういた回遊ルートデザインによるまちの魅力増進・発信事業」として盛岡市都市戦略室との協働で実施した取組です。

ニューヨークタイムズ紙「2023年行くべき52カ所」に盛岡市が選出されたことを受け、まちの文化と日常の魅力を地域や市民と共に発信することにより選ばれる都市から選ばれ続ける都市へ変化していくことを目指すものです。

<地域住民の視点を用いた回遊ルートデザインによるまちの魅力増進・発信プロジェクト>

背景と目的

盛岡ブランドの構成要素「自然と暮らしの物語」の魅力である多数の盛岡町家と歴史的な街並みを有する鉾屋町界隈は、豊富な地域資源の中に人々の暮らしがいきづく地域です。地域資源の回遊性を高めることで地域の魅力・価値の増進ならびに発信力をより一層高めることができると考えました。鉾屋町・大慈寺町界隈をモデルとして、地域住民等の視点を用いた回遊ルートの提案を通じて、まちの有形・無形の価値と魅力を暮らしや良さとともに可視化し発信することで、もりおかの魅力向上および発信力向上の一助となることを目指す取組です。

取組内容／まちの文化と日常の魅力を伝える取組

地域回遊ルートをつくり、市内外（公共文化施設等）で配布活用するためのマップパンフレットの作成、地域住民の地域のお勧めポイントやエピソードを特設ウェブページと町家施設ギャラリーで紹介、さらに、他地域での回遊ルートづくりの参考資料となるようなプロジェクトレポートを作成しました。

まちの人々がすでに持っているまちへの誇りや思いを可視化し、まちに暮らす人々の顔が見える取り組みを発信することで、まちづくりへの参加や情報発信についての住民や市民の意識醸成を期待しました。

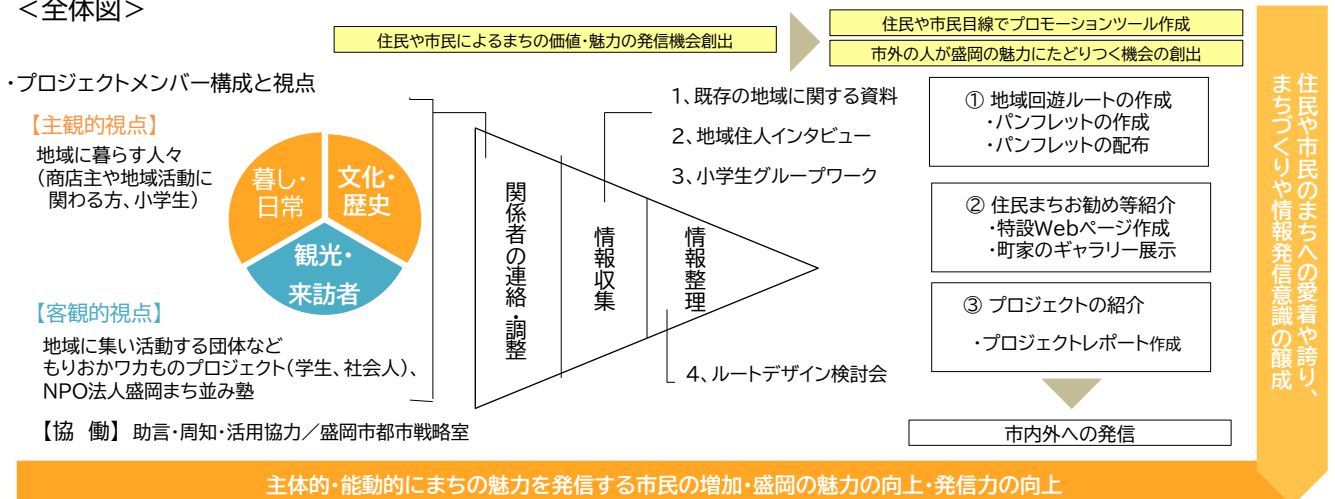
実施内容

地域に暮らす方々にインタビューや小学生グループワーク、地域活動団体「もりおかワカものプロジェクト」の皆さんとのルートデザイン検討会で、まちの価値や魅力のリサーチを行い、情報収集整理と全体の連絡調整を盛岡まち並み塾が務めました。そして、取組への助言や周知、成果物の活用を盛岡市都市戦略室に協力して頂き実施しました。

<目指すもの>

協働の成果	短期的効果	数年後の効果
住民や市民とともに有形・無形のまちの価値や魅力を発信する機会の創出	住民や市民のまちへの愛着や誇りの醸成	主体的・能動的にまちの魅力を発信する市民の増加により、盛岡ブランド力と地域の情報発信力向上
住民や市民目線で盛岡の暮らしや良さを発信するシティブロモーションツールの作成	まちづくりへの参加や、盛岡の情報発信についての市民意識の醸成	盛岡の都市としての良好なイメージや魅力度の向上により、市内外から選ばれつづけるまちになる。
市外の人々も欲している、盛岡の魅力にたどりつく機会の創出		

<全体図>



プロジェクトの流れ

1 地域関係者の連絡調整

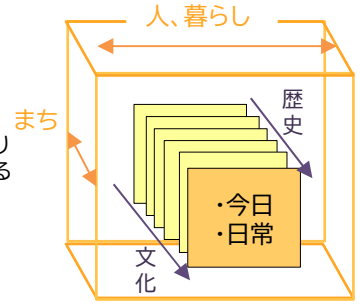
◆プロジェクトの周知と協力呼びかけ

まず始めに取り掛かるのは、地域へプロジェクト実施についての周知と協力呼びかけです。町内会や町内回覧板での広い周知に加え、日頃から交流のある方々にも個別に実施予告を行いました。

◆プロジェクトメンバー構成とメンバー集め

- ・まちは人々の暮らしからできています。まちに暮らす人々に焦点を当て、インタビューを軸に「まちの文化と日常の魅力」をリサーチします。そして、バランス良い視点で地域を紐解く必要があります。地域を主観的・客観的2視点で見つめ、[日常と暮らし][文化と歴史][観光・来訪者視点]を意識して情報収集しました。
- ・プロジェクトを地域の多くの方に認識してもらう事は大切なことなので、地域でよく知られている住人の方から協力のお声がけをしました。地域役員、地域活動に関わる方、ご商売などで日頃から来訪者にまち案内する機会がある方、さらに近年移住や開業した方等。(5名-10名程度)
- ・子ども達のまちづくり教育や地域学習の機会として、小学校の「総合的な学習の時間」の授業でコラボレーション協力をお願いしました。(高学年1クラス程度)
- ・客観的視点を担う部分は、地域に通い集う活動団体の皆さんに協力をお願いしました。(団体から5名程度)

- まち=人、暮らしの営み
「今日」の積み重ねが「歴史」となり
「日常」の積み重ねが「文化」となる
「人々の暮らし営み」の重なりが「まち」になる



○ プロジェクトメンバーと視点

【主観的視点】

地域に暮らす人々
(商店主、地域活動に関わる方、小学生)

【客観的視点】

地域に集い活動する団体
もりおかワカものプロジェクト(学生、社会人)、
NPO法人盛岡まち並み塾



○ プロジェクトメンバー構成とリサーチ方法

視点	要素	属性	リサーチ方法
主観	・日常と暮らし ・文化と歴史	住人：町内会、 商店主、地域行 事関係、小学校	・インタビュー ・グループワーク
客観	・観光 ・来訪者視点	地域活動団体	・検討会 ・街歩きリサーチ

2 地域資源についての資料集め

◆盛岡市のホームページから調べる (以下のキーワードなどで)

「盛岡ブランド」「盛岡市の景観重要樹木」「盛岡市の景観重要建造物と保存建造物」「指定文化財」「盛岡市都市景観賞」「盛岡市歴史的風致維持向上計画」「地区計画」「景観地区」「盛岡の先人たち」「盛岡市町名由来記について」など

◆地域情報紙媒体：地域紹介パンフレットやチラシ、地図や観光マップ、学校などが発行した記念誌 など

※地域紹介パンフレット「わたしのまちの『宝物』ガイドマップ-わたしのまちの『宝物』発見ブック&シート」
(発行：2021年度：特定非営利活動法人盛岡まち並み塾法人盛岡まち並み塾)より

※「ぶらり鉈屋町マップ」
(発行：2023年度：特定非営利活動法人盛岡まち並み塾)より

3 地域住人インタビュー／7月～9月実施

◆インタビューにご協力いただいた地域の方々 12名 (40代～80代)

- ・長年ご商売をされている方 (酒屋、呉服屋、理容店)
- ・近年、地域に移住や開業をした方 (ゲストハウス、藍染工房、町家食堂)
- ・地域活動や伝統行事に関わる方 (町内会、交通指導隊、消防、「舟っこ流し」)
- ・イベントなどで町案内をされている方
- ・歴史施設の管理に携わる方(下町史料館御蔵) など ※重複あり

◆聞き取りのポイント・質問事項

まちのお勧め情報とともに、個人のルーツを聞き取ることを大切にしました。まちに暮らし始めたきっかけや、地域の活動に関わるきっかけなどを探ることで、[まちの魅力の背景＝ルーツ]を紐解くヒントが得られると考えました。

- ・自己紹介／居住歴や移住の背景
- ・地域での暮らしや活動で大切にしていることや喜び
- ・まちの魅力／お気に入りやお勧め、自慢、思い出
- ・第三者にどのように普段まちを案内しているか (ルートなど)
- ・変わらずにこれからも残って欲しいまちのコトガラ など



地域活動団体「もりおかワカものプロジェクト」の皆さんにも協力いただき、和気あいあいと会話が弾みました。活動でよく知る地域の皆さんの初めて知る一面も多く、感動いっぱい。

◆インタビューで得られた内容 (一部ご紹介しします。)

まちの魅力、自慢				まちのお気に入りやお勧め			
井戸が2つ (盛岡三清水の内2つ 平成の名水百選)	お寺 9つもある	原敬・米内光政 (2人の総理大臣 お墓がある)	「御蔵」 (下町史料館) 江戸時代の蔵	町家の街並みに 見える 岩手山の風景	曲がりくねった道 (街道) や裏道	昔からある 沢山の樹木	大慈寺 参道・自然
盛岡町家の街並み 安心感・落ち着く	「木津屋」 江戸時代から 見事な佇まい	やっばり川の近くから 「舟っこ流し」	四季折々の 自然・行事	「細重酒店」 町家空間で 「もっきり」は感動	「かわ広」の てんむすが 美味しいよ	青龍水の ベンチ	羅漢公園 石造の不思議空間 乗割桜も珍しい
十字稲荷神社 300年地域で守る	人情 活動などを手 伝ってくれる	御蔵や井戸 地域の人達が 管理に一生懸命	付かず離れずの 人との距離感	道幅の狭さ コミュニケーション をとりやすい	静かな環境が ものづくりに適してる	もりおか 町家物語館	神子田朝市 ひつつみ汁
人が 面白い	やっばり 暮らしがよいね	スーパーや学校 が近くて便利	盛岡八幡宮やバスセンター 紺屋町や菜園など 歩いていける近さ	新しい小洒落た お店がある通りも	川原が好きだね 子どもの頃の 遊び場だったよ	大慈寺小学校 校庭からの眺め 懐かしいね	小道に 三面地蔵

普段のまち案内の仕方の参考例

初めにまちの成り立ちや歴史をお話してみたら、興味がありそうな方にはさらにお勧めスポットをお伝えします。まずは「大慈清水」、そして「大慈寺」、寺筋の鳥の塀をゆらゆらたどって「青龍水」で水を飲んで潤すと良いですよ、と伝えます。時間があれば「惣門」、「木津屋」→「円光寺」へ。さらに、もっと時間があれば「御蔵」まで。あとは「ユニバース」で買い物。

食堂のご主人

まちの案内人さん

Aコース：所要時間30分：[大慈寺(原敬) → あさ開 → 羅漢公園 → 三き亭・め組の消防番屋 → もりおか町家物語館 → 大慈清水御休み処]

Bコース：所要時間40～90分※御蔵を見学する場合
：[大慈清水 → 大慈寺 → 寺の下寺院群 → 木津屋 → 惣門跡 → 円光寺 → 御蔵(下町史料館) → 新山河岸 → ↓
[↑ ← 盛岡町家が並ぶ通り ← 岩手山が見えるスポット ← め組消防番屋 ← もりおか町家物語館 ← ユニバース裏側を經由

Cコース：所要時間2時間40分～3時間：Aコース+Bコースを全て周る

ゲストハウスオーナー

神子田朝市が休みの月曜日は、朝食を求めて周辺地域まで宿のゲストの皆さんとよく朝散歩へ出かけます。最近のコースは以下。
朝のコース：[青龍水 → 大慈寺 → 永泉寺(樹木を見て) → 羅漢公園(十六羅漢) → 盛岡八幡宮 → 盛岡バスセンター内の福田パン → ↓
[鉦屋町に戻ってくる ← ← 桜山の「りーべ」で朝食” or “中津川・紺屋町の「深草」前の川原で川を眺めながら朝食”

◆参考：「盛岡まち並み塾」会員に聞いた鉦屋町界隈の魅力

「曲がりくねった道に見える岩手山」「道」「清水」「町家の風景」「大慈寺」「細重酒店」「大慈寺小学校や大慈寺の自然」「職住一体の暮らし方」「隣近所のつかずはなれずな距離感」など 地域住人の方々のインタビュー結果と同様の傾向でした。

まちの回遊ルートデザイン的设计に活かす主なキーワードや視点

<p>【歴史・文化】</p> <p>井戸(清水)、お寺(大慈寺、円光寺)、御蔵(舟運の歴史)、曲がりくねった狭い道(街道)、惣門跡、城下の入り口、歴史ある建物、原敬と米内光政、昔からある樹木、め組消防番屋、大慈清水御休み処、もりおか町家物語館 など</p>	<p>【日常・暮らし】</p> <p>景色／岩手山が見える、盛岡町家の街並み、川と川原、自然、四季、行事、「細重酒店」のもっきり、神子田朝市暮らしが、利便性、人、人の良さ、人との程良い距離感 食事処やお店、周辺地域との歩ける近さ、ものづくり、朝と夜時間帯 環境、空間、風景、空気感／癒し、安心感、懐かしさ、新しさ など</p>
<p>【視点】／エリアを分けて、代表的な地域資源(スポット)から、まちの成り立ち歴史、まちの過ごし方、周辺地域も一緒に楽しむ、 など</p>	

とても貴重な、まちの皆さんのインタビュー内容は「まちの回遊ルートデザイン」パンフレットの設計に活かすだけではなく、インタビューそのものを紹介する企画として地域の人々に焦点をあてた「パネル展」を実施し、プロジェクト特設ウェブページでも紹介しています。

取組1:町家施設ギャラリーでの展示

「まちの文化と日常の魅力を伝えるパネル展～人からひもとくまちの魅力のルーツ～」

- 会 期：2023年10月1日～10月31日
 会 場：大慈清水御休み処（盛岡市鉦屋町3-15）
 内 容：鉦屋町界隈の「地域の人々」に焦点を当て、インタビュー記事と写真でまちの魅力を紹介するパネル展。明治期建設の盛岡町家のギャラリースペースで、まちの風景写真のスライド上映も実施しました。



周辺地域や鉦屋町界隈の住人の方や、インタビューにご協力いただいた住人のご家族やお知り合いの方、県外から市内イベントを訪れた際にチラシを見て来た方など851名が来場されました。地域の方は普段段暮らしているまちを客観的に見る機会となったようで興味深く展示をご覧になっている姿が特に印象的でした。そして、イベント情報は各種メディアで紹介されました。

- ・10/11 「盛岡経済新聞」、Yahoo! ニュース
- ・10/27 「河北新報」
- ・10/30 「盛岡タイムス」
- ・10/17 ラジオもりおか & 27 「てくりプレゼンツほにほにラジオ」

◆来場者メッセージ（一部をご紹介します。）

みなさんに共通して言えるのは「この町が好き」ということです。これからこの町に住み続け、町を守ってきたいです

この街が好き

まちの良さを再認識しました。続編を希望します。

伝統的な文化や生活が分かる展示でした。越してきたばかりで分からないことも多いですが色々な形で協力していきたいです

まちの人のいい顔をパネルにさせていただくことでまちを知らない私も笑顔になれる、このまちに住んでみたいと思えるすてきな展示でした

移住先を探しています以前から何度か訪れている鉦屋町やっばりいいと思いました

本など記録に残らない地元の方々の語った事を残す大切さを再認識する展示でした

住んでいる人々のくらしや地域に対する愛着がわかりました。また鉦屋町に来たいと思います。ファンになりました

4 小学生グループワーク(GW)／11月実施

◆「盛岡市立大慈寺小学校」5年生総合的な学習の時間とのコラボレーション

まちのルートデザインに、地域の“一生活者”である小学生の皆さんの視点も取り入れたいと考えました。児童の皆さんは「総合的な学習の時間」で「郷土の文化や産業」を学ぶ過程で、地域の方にまち歩きレクチャーを受けるとのことで、伴走させていただくことになりました。

そして、その学びの成果を、ルートデザインパンフレットに活かすことになりました。「今、私たちがまちづくりのできることをテーマにグループワークを行い、学びの振り返りとして「おすすめしたいまちの魅力・良いところ」を出し合ってもらいました。


- ・盛岡出身の首相原敬の菩提寺「大慈寺」近くに、「宝積」（見返りをもとめず人のために尽くす）の心を育てたいと、地域の強い要望で、原敬が亡くなった約10年後に建てられた大慈寺小学校。令和5年度5年生23名の皆さん。

- ・児童の皆さんが、まち歩きレクチャーを通じて興味を持った事柄は大きく5つでした。【歴史や文化】
 ①偉人 ②お寺が多いこと ③舟運 ④清水 ⑤羅漢さん(羅漢公園)
 これらについて学びを深めた結果を、まちの魅力を伝えるオリジナルのお芝居にして、学習発表会で披露されていました。

- ・「総合的な学習」の振り返りの時間には、鉦屋町界隈のまちづくりの取組についてレクチャーを行った後、グループワークを行いました。



- ◆ グループワークの結果（一部をご紹介します。）
 日常生活で訪れる場所、お店などの情報から主な内容。



◎ 鉦屋町界隈のまちづくりについてのレクチャー
 まちの個性・魅力が輝いて、一人ひとりが自分らしく生き活きと暮らし続けるための活動や取組が「まちづくり」です。ポジティブな気持ちは連鎖し輪が広がっていきます。まずは自分自身がまちを知り“良いな・楽しいな”と思うことを共有したり、すでにある活動に参加することから始めましょう。



おすすめしたいまちの魅力・良いところ【日常・暮らし】

- ・お寺（長松院）：猫が沢山いる
- ・十六羅漢公園：みんなが安心して過ごせる公園
- ・石沢釣具店：ここでしか作れない釣り竿を作っている
- ・舟っこ流し：1年に1度お盆にやる行事、盛岡では有名
- ・あさ開：色々なお酒を売っている、甘酒が美味しい。
 近くを通ると11月頃お酒のいいにおいがする
- ・みちのくあかね会：羊の毛を使ったマフラーなど作っている
- ・むさしや：おだんごがとてもおいしい
- ・プランタンプラン：ケーキがおいしいよ
- ・ユコバス：食べ物や洗剤など便利なものが売っている
- ・フラフ：このコーヒーが美味しい。いつも混んでいる。

5 ルートデザイン検討会／8月～11月実施（全5回：8月10日、9月10日、9月23日、10月22日、11月28日）

◆まちの回遊ルートをデザインする

「もりおかわかものプロジェクト」5-6名（社会人：建築・福祉・まちづくり系、学生）のメンバーで、住人の皆さんから収集した情報や、実際にまちを歩いてリサーチして得た情報、そして、観光パンフレットや書籍やウェブを参考にして、ルート設計とパンフレット設計について検討しました。豊富な地域資源に、一部ではなくまんべんなく巡り合えるような“まちの繋ぎ方”を考えていきました。そして、特に大切にしたいことは「暮らしと観光の共存」という視点です。まちに暮らす人々と来訪者がともに豊かな時間を過ごすために必要な情報の取捨選択を、丁寧にやることを意識しました。



◆検討会で出合った内容

◎来訪者にとって、あると嬉しい情報

- ・やっぱり飲食や買い物・休める場所の情報は欲しいね。歩いていて少しおなかが空いたり、休憩したい時の情報があると嬉しい
- ・史跡や町名由来版など、まちの成り立ちや歴史がわかる指標は必要だね
- ・だいたい45分～60分程度の散策時間が基本ルートとしては丁度よいのでは

◎実際にまちを歩いて感じた発見

- ・やっぱり自然が気持ちいい。自然（植物や樹木、北上川河原など）を巡ればおのずと寺筋、川筋などを歩いてエリアを一周することができる。
- ・朝の魅力、夜の魅力、時間毎の魅力がある
夜の明かりが美しい／町家の格子戸からもらえるあかりはきれい、この町ならではの風景。神社やお寺のライトアップが美しい。
朝は日常の暮らしの風景が豊富／神子田朝市やお寺の鐘の音、地域の人達の活動（井戸掃除、通勤通学時間の交通指導員さん、店のオープン）など
- ・このまちは景観地区ということもあり、歴史的な建物が多いことはまちの個性であり魅力。保存建造物や都市景観賞受賞建築など時代を超えて建つ名建築が多い。
- ・まちの入口は一つではない。肴町、南大通り、八幡町、仙北町、神子田町など周辺地域との入口がある。南大通りだけでもエリアへの入り口は複数ある。バス亭も複数ある。



◎まちの魅力に触れる・楽しむために大切な視点【発信すべき情報とそうでない情報の見極めをする】

- ・まちの魅力である「暮らし」がこわれてはいけない。 → 来訪者が、住人の皆さんの暮らしの時間やリズムに習えるようなガイド情報があると良いのでは。
／まちの活動が始まる時間と終わりの時間の目安（神社仏閣、井戸の利用時間、商店営業時間など）
- ・神社仏閣や史跡が沢山あるので「ご利益スポット」のような打ち出し方をするのはどうだろう
→ 地蔵などは悲しい歴史が背景にあるものも多いことが、住人インタビューで分かった。慎重に扱うべきもの。[ご利益]という表現でくくるのは難しい。
- ・ものづくりをしている方や工房が意外と多いまちである。「工房巡り」のようなルートを作るか。
→ 個人で製作している職人さんが多く、不特定多数への接客が難しいため来店予約が必要な場所もあり、難しさがある。しかし、職人さんが多いまちとして知ってもらえるのは良い。

◎まちを構成する要素や豊富な資源の紹介方法をどのようにするか【パンフレット紙媒体とwebページを使い分ける】

- ・豊富に地域資源があり、多様な切り口でルート設計ができる。しかし地図だけでは情報を全て網羅できない。スペースの使い方、情報を取捨選択する必要がある。
- パンフレットだけで完結せずに、資源をジャンル別（歴史建築物、史跡、自然や樹木、食事処、工房など）に情報整理し、webページで紹介する。
- ・まちの日常の魅力を伝えるための切り取り方が多様にある。[まちの1日][季節の風景と彩り12か月][名建築]
→ webページへ、まちを時間の経過からみた写真ギャラリーを作成し表現する
- ・夜の明かりは美しい。
→ しかし、暮らしの場であるまちの夜は、住人の皆さんの眠りの時間であり、来訪時間にはふさわしくない。webページの写真ギャラリーで夜の風景を紹介する。

◎ルートの名称はひと工夫をして、まちの魅力の楽しさを届ける

- ・地域資源が私たちにもたらしてくれる恩恵・与えてくれるものや、イメージを表現する（癒し、安心感、清々しさ など）
- ・楽しくなるような遊び心のあるリズムの良さを意識して／地域の人々のインタビューで出てくる言葉などからヒントを得て設計する。



◆ルートデザイン／地域の皆さんから収集した情報からルート設計の軸を導き出す

- [井戸、寺と自然、舟運の歴史、町家と街並の街道、偉人] これらの地域資源がこのまちの歴史や文化の象徴的なものになる。
- エリアを分割してとらえる
・初級 → 中級 → 上級
・点（スポット） → 線（川筋・寺筋・道筋） → 空間（歴史街並み空間・暮らしの空間）
・水と寺の自然 → 舟運の北上川と盛岡町家の街道 → 歴史を伝える建築物と史跡
・エリアを地図で見た場合に[北] [南] [北と南のどちらも全て] の3つに収める
・一日の時間、一日まるまる鉦屋町で過ごす、地域の人との出会いと交流
- キーワード
・懐かしさと新しさ、まちは変化し更新している、歴史や知識をお知らせするだけでなく「まちの過ごし方や楽しみ方」の提案を→ 歴史と店情報など織り交せる
・このまちの魅力は、やはり「豊富な歴史地域資源と暮らしの共存」、暮らしても訪れても良いまち。
・まちの魅力は「人」。まちの窓口のような人に出会える場所がわかると、安心だし、嬉しい。
・まちがオープンしている時間、暮らしのリズム：飲食店やまちの施設（神社仏閣、井戸、朝市など）の利用可能時間や定休日情報

【ルート名とコンセプト】 5ルート：基本ルート3つ（パンフレットで紹介）、応用ルート2つ（webページで紹介）

- 基本ルート：① する〜と初級編 「～四季折々の彩と清々しい空気に包まれ心洗われルート～ 寺院群の自然と二つの清水『平成の名水百選』を巡る」
② ゆる〜と中級編 「～歴史情緒と暮らしの香りにほっと心が温まるルート～ 舟運拠点の北上川筋と盛岡町家の街並み残る街道筋を巡る」
③ ぐる〜と上級編 「～懐かしも新しい時間の流れに誘われ心癒されルート～ 境界の歴史と暮らし文化のルーツを紐解く史跡や名建築を巡る」
- 応用ルート：① 「～朝から夕方までのまちに流れる時間を五感で体験～ 1日ずったりまちを満喫＆満腹メニュー」
② 「～通いたくなる・帰りたいくなる“心のよどころ”～ 迎えてくれる人がいる、まちの入口のような場所」

◆パンフレットデザイン／構成・掲載する情報

- ・タイトル：ルートマップ～歴史風情あふれる街並みに人々の暮らしがとけ合い新しい風が流れるまち～盛岡市鉦屋町境界魅力ガイド&散策
- ・ルート情報は基本編に加え、応用編として、自分で情報を選択してルート設計できるコーナー（まちで一日を過ごすための施設営業情報）を掲載
- ・パンフレットを手にした人が、発見したことやまちのお勧め情報を記入する欄を設ける
- ・鉦屋町境界だけで完結せずに、周辺地域のちょっとした情報やアクセス情報があることにより「まちがつながる」、「歩いて楽しめるまち」を目指すことができる
→ 中心市街地との距離感や近さがわかる目安（移動時間など）
- ・地域の人々のインタビュー記事や小学生の皆さんの声が見えるコーナー → 住人の方のイラスト入りまちのレビュー、地図にお勧め情報を吹き出しで掲載する
- ・プロジェクトの紹介と特設webページの情報（QRコード）

取組2:パンフレットの作成・配布

「歴史風情あふれる街並みに人々の暮らしがとけ合い新しい風が流れるまち
盛岡市鉦屋町界限 魅力ガイド&散策ルートマップ」

仕様: A4サイズ(折パンフレット4ページ)、作成部数: 10,000部

内容:

○まちのレビュー

「暮らしても訪れても良いまちわたしが暮らす盛岡市鉦屋町界限
ここがおススメ♪ここがステキ♪」

○マップ&ルート「鉦屋町界限の魅力に出会う散策モデルルート」

○「教えちゃいます! 鉦屋町界限の楽しみ方のヒント」

○自由記入欄「教えたい♪私が見つけた! 鉦屋町界限の魅力&マイルート」

配布カ所: 市内外の公共施設や観光施設など約400カ所

また、特設ウェブページからダウンロードすることができます。

- ・鉦屋町町内会や商店や施設など地域に配布しました。
- ・盛岡市立大慈寺小学校の全校生徒に配布しました。
- ・パンフレットは今後もシティブロモーション機会で活用される予定です。
- ・メディア掲載/2024年2月3日「河北新報」、「河北新報オンライン」など
そして、「河北新報」掲載記事をご覧になった宮城県の方から
パンフレットのリクエストのお問い合わせをいただきました(5件)



メディア掲載情報をご覧になった方からの声

盛岡に出掛けたいと思っています。
パンフレットが欲しいです。

昔、鉦屋町に住んでいて
懐かしかったです。
パンフレットをいただけますか。

取組3:特設ウェブページの作成

「地域住民の視点を用いた回遊ルートデザインによる
まちの魅力増進・発信事業 ウェブページ」

「特定非営利活動法人盛岡まち並み塾」のホームページ内に開設しました。

URL: <https://www.machinamijuku.org/my-route-design>

内容:

○プロジェクト概要とコンテンツ一覧

○まちのギャラリー

・鉦屋町界限まちの一日を過ごす(イメージ)

・鉦屋町界限まちの1年の風景

・まちの暮らしと文化の歴史を継承する街並み建築

○インタビュー/わたしのまちのここがおススメ♪ここがステキ♪

○回遊ルートデザイン制作風景/情報リサーチ、検討会

○まちの散策モデルルートの紹介/基本ルート3、応用ルート2

○パンフレットの紹介「盛岡市鉦屋町魅力ガイド&散策ルートマップ」

・パンフレットデータダウンロードコーナー

・パンフレットの特徴と使い方

・パンフレット活用例(地域資源マップ: 寺院・神社、史跡、景観・建築物、樹木などの自然、食事処)

○その他取組/パネル展の紹介

○新着情報



取組4:プロジェクトレポートの作成

「地域住民の視点を用いた回遊ルートデザインによるまちの魅力増進・発信
プロジェクトレポート」

仕様: A4サイズ冊子(8ページ)

作成部数: 500部 ※特設Webページからデータダウンロードが可能です。

内容: 実施エリアの解説、プロジェクトの概要、実施内容、取組み内容の紹介

この冊子では、岩手県盛岡市鉦屋町界限をモデルに実施した「地域住民等の視点を用いた回遊ルートの提案を通じたまちの文化や日常の魅力を伝える取組」をご紹介します。他地域でも同様のプロジェクトに取り組む際の参考にしていただければ幸いです。市民や住民による、まちづくりの参加や情報発信の意識醸成や、それを通じた、まちへの誇りや愛着の醸成のための取組にご活用ください。



【主催・企画・運営】

特定非営利活動法人盛岡まち並み塾

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人盛岡まち並み塾 事務局

〒020-0827 岩手県盛岡市鉦屋町3番15号「大慈清水御休み処」内

TEL: 019-656-1603 <https://www.machinamijuku.org/>

